#### 令和3年12月4日(土)生涯学習フェスティバル

# 写真で見る昭和の高崎市街地

#### 1 田町通り~連雀町通り~あら町通り

昭和31年から中央通り線の拡幅工事が行われ、高崎のまちなみが一新した。江戸時代に中山道が開かれて以来、初めてとも言える大工事で、4車線幅の大通りとなり、防火対策として3階建てのビルが立ち並んだ。



まらなかの名乗(昭和82年12月): 30年頃の連省町通り

写真 1 連雀町通り(昭和30年代初め)

写真2 まちなかの渋滞(昭和32年12月)





写真3 あら町通り 写真4 あら町交差点(昭和32年9月)



あら町通り (昭和32年11月) 音楽センター建設運動の横断幕



写真 5 連雀町交差点南 (昭和 32 年 11 月) 写真 6 本町市営住宅 (写真は平成 18 年)

# 2 高崎駅前広場・駅前通り





高崎駅前ロータリー(昭和42年12月)

写真7 大高崎にふさわしい駅前広場を(昭和32年4月)(昭和42年12月)



写真9・10 駅前通り(昭和32年6月)



高崎駅前通り (昭和32年6月)





写真11・12 現在のれんが通り・ラジオ高崎交差点(昭和32年6月)





写真13・14 駅前の風景が10年で大きく変化(昭和43年1月)

# 3 商店街の風景・まちかどの風景





写真15 中央銀座(昭和30年12月) 写真16 広小路通り(昭和32年12月)





写真17 田町交差点(昭和32年2月) 写真18 鞘町交差点(昭和32年6月)





写真 19 柳通り(昭和32年9月) 写真 20 オリオン座(昭和32年10月)





写真 21 お堀が凍結(昭和32年1月) 写真 22 開かずの踏切(昭和32年3月)

#### 高崎城址の変遷 兵営跡地が官庁街へ 4

戦後、高崎城址の兵営跡地は占領軍の接収後、学校、耕作地、工場などに使われたが、短期 間で高崎市役所庁舎、専売公社、電話局、保健所、群馬音楽センターなどが次々に整備され、 官庁街に変貌した。



写真23 大手前(昭和32年2月)

写真 24 高崎市立短期大学 (昭和30年8月)



写真 25 専売公社(昭和30年8月) 写真 26 市役所と電話局(同)







写真 27 国立高崎病院(昭和32年6月) 写真28切通し(昭和32年7月)





写真 29 自衛隊特車行進(昭和 32 年 10 月) 写真 30 高崎公園(昭和 30 年 8 月)